

発達障がいとどう向き合うか

発達障がいとは、自閉スペクトラム症（広汎性発達障害）、注意欠如・多動症（注意欠如・多動性障害）、限局性学習症（学習障害）などの脳機能の発達に関する障がいです。本公開講座では昨年度に引き続き、発達障がいについての理解を深めるとともに、子どもたちの具体的な支援方法について考えていきたいと思ひます。

第2回 発達障がいの子どもたちが お遊戯やお絵かきが難しい身体的原因

日時：2016年11月26日（土） 受付：13:30 開演：14:00～15:00

講師：藪中 良彦 先生（大阪保健医療大学 教授／理学療法士）

【講師プロフィール】

広島大学学校教育学部養護学校教員養成課程卒業。クィーンズランド大学（オーストラリア）健康科学部小児理学療法修士課程で発達性協調運動障害（DCD）について学ぶ。2012年9月より月に1～2回阿倍野区役所で「ぴああべのん」PT専門相談として、4～9歳の協調運動に難しさのある子どもたちへアドバイスを提供している。

【講演内容】

発達障がいの子ども達が協調運動をうまく行えない原因となる感覚、眼の運動、力の調整、バランス、細かい手の動きや大きな動きなどについて説明した後、お遊戯やお絵かきの難しさについて考えてみたいと思ひます。子どもたちのしんどさを少しでもご理解いただければと思ひます。



第1回 発達障がいがある方の 「育ち」と「巣立ち」を支える

終了
しました

日時：2016年9月3日（土） 14:00～15:00

講師：工藤 芳幸 先生（大阪保健医療大学 教授／言語聴覚士・臨床発達心理士）

会場 大阪保健医療大学 1号館

対象 どなたでもご参加いただけます

定員 100名（先着） 参加費 無料

申込 11月上旬～HP、FAX（裏面）またはお電話にてお申し込みください

PC <http://www.ohsu.ac.jp>



お問合せ先 0120-581-834

※当日の個別相談は受け付けておりません。



アクセス

- 「天満橋」駅から徒歩約8分
- 「大阪天満宮」駅・「南森町」駅から徒歩約10分



大阪保健医療大学は、リハビリテーション専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）を育てる学校です。リハビリテーションでは、発達障がいのお子さまも支援しています。私たちは、地域の健康づくりに貢献し、社会に開かれた大学を目指しています。



大阪保健医療大学 1号館
OSAKA HEALTH SCIENCE UNIVERSITY
〒530-0043 大阪市北区天満1-9-27

- 保健医療学部リハビリテーション学科
・理学療法学専攻・作業療法学専攻
- 専攻科・言語聴覚専攻科（4年制大学卒業以上対象）
- 大学院 保健医療学研究科